

ナンバープレートについて

奈良県自動車整備工業協同組合 理事 阪本氏
株式会社浜谷金属工業所 代表取締役 濱谷氏

火曜午餐会・7月第2例会は21日12時15分から当部5階大会議室で開催した。講師に奈良県自動車整備工業協同組合理事・阪本司氏、株式会社浜谷金属工業所代表取締役・濱谷忠樹氏を招き「ナンバープレートについて」をテーマに語って頂いた。阪本氏は図柄入りナンバーについて「地域名だけではなく景色や名産品が描かれ、走る広告塔としての効果が期待されている」、濱谷氏はプレート製造について「厳しい品質基準があるため、第三者機関に品質検査を依頼。評価を得ることでより良い品質の維持を図っている」と語った。講演要旨は次の通り。

《阪本氏》

当組合は県下のナンバープレートの交付業務を近畿運輸局の認可を受け、代行業務を行っている。認可の正式名称は「近畿運輸局長指定自動車登録番号標交付代行社」です。

ナンバープレートは、自動車道路運送車両法に定められた登録制度によって登録されていることを証明し、外部に表示するもの。この表示がなければ公道を走行することができない。交付されたナンバープレートは唯一固有のもので、車の所有権の保護、取引の安全確保、盗難防止に寄与すること

になる。

ご当地ナンバー

現在、ナンバープレートの地域名は全国で135あり、自動車を使用する本拠地の運輸支局の名称となっている。しかし、地域を盛り上げたい、アピールしたい、という自治体や住民の皆さんの強い郷土愛により、2006年（平成18年）に19地域、2014年（平成26年）には10地域の「ご当地ナンバー」が生まれた。

さらに地域の観光振興のため、2018年10月には地方版図柄入りナンバープレートが生まれた。地域

名だけではなく、景色や名産品が描かれた図柄入りは走る広告塔としての効果が期待され、「付けて走って広げよう地域の魅力」というキャッチフレーズがつけられた。また、寄付金付きナンバープレートを交付することで、地域の交通改善や観光振興に活用されることにも期待されている。

図柄入り地方ナンバープレートは、2018年5月から全41地域で交付。奈良県では今年6月末現在で交付台数第5位。1位は熊本の「くまモン」。

「飛鳥」ナンバーは、今年5月に交付が始まり大変人気がある。古来より相互に交流があった飛鳥

川流域に位置する橿原市・田原本町・高取町・三宅町・明日香村の五つの市町村により、飛鳥ナンバー協議会が設立。地域の知名度の向上、地域振興、観光振興などへの効果が期待され「飛鳥」ナンバー導入へ向けて地元の方々が熱心に取り組んでこられた。

《濱谷氏》

弊社は昭和元年創業で、昭和26年ごろから奈良県のナンバープレートを製造しており、現在は、奈良県、岡山県、鳥取県の一部を製造している。その他各市町村の原付バイクのナンバープレート、表記物、看板、オリジナルグッズなどの製造を広く浅く営んでいます。

ナンバープレートの品質基準

長期間に亘り表記内容が明確明瞭にわからなければならない。そのためナンバープレートには厳しい品質基準が設けられ、その検査方法が定められている。弊社では毎日ナンバープレートを製造ラインからランダムに抜き取り、塗膜、耐衝撃性、密着性、外観、耐屈曲性など自社でできる13項目の検査で品質チェックを行っている。また一年ごとに、第三者機関である一般財団法人塗料検査協会に品質検査を依頼し、評価を得ることでより良い品質の維持を図っ

ている。

ナンバープレート完成まで

カラーアルミ板をプレス機にかけ地域名や数字表示を加工。凹凸加工された凸部分をロールコーターという機械で塗装し、200℃で焼付乾燥を10分ほど行う。そして目視で塗装不良やゴミなどを検査し、CCDカメラの付いた読取検査機で検品チェック。完成後は1台ごと袋に封入し、QRコードラベルを貼付。そして50台ごと専用のプラケースに入れ収納庫に納め、注文後配送する。

ナンバープレートの種類

ナンバープレートには、シート式・ペイント式・字光式がある。一番多いのがシート式で、細かなグラフィック図柄をプリントでき、今後種類が増えても多品種小ロットで対応が可能。現行のペイント式ナンバープレート製造設備がある程度共用して加工ができ、比較的安価でできる。そして耐久性があり、偽変造されにくいというメリットがある。

デメリットとし

ては、現行のペイント式と比較して、薄いシートを使用しているためキズ・汚れが付きやすい。低温で長時間の焼付加工なので生産性の低下がでてくる。

図柄入りナンバープレートの未来予想図

今後の地方版図柄入りナンバープレートと、特別ナンバーを検討しており、今考えられるのが2025年開催の大阪関西万博。また福山ナンバーの広島東洋カープとコラボした図柄デザインのナンバーがかなり大きな反響を得ている。ですから、プロ野球やサッカーJリーグ、その他バスケットBリーグなどの公式ナンバープレートが増えて、益々図柄入りナンバープレートの増加を期待したいところです。

